

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局



(43) 国際公開日  
2005 年 3 月 17 日 (17.03.2005)

PCT

(10) 国際公開番号  
WO 2005/025261 A1

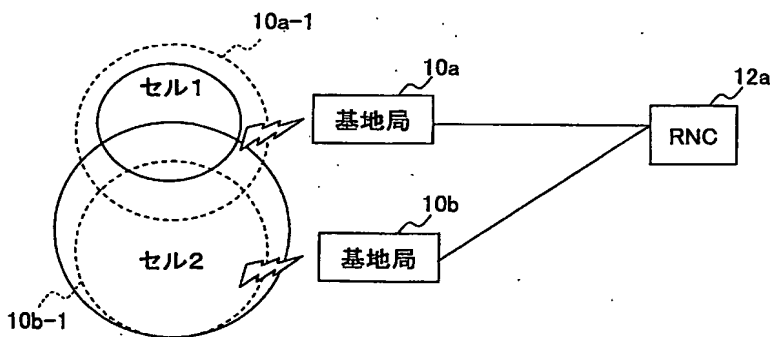
- (51) 国際特許分類<sup>7</sup>: H04Q 7/38
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/011123
- (22) 国際出願日: 2003 年 8 月 29 日 (29.08.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 富士通株式会社 (FUJITSU LIMITED) [JP/JP]; 〒211-8588 神奈川県 川崎市 中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 Kanagawa (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 野宮 貢 (NOMIYA, Mitsugi) [JP/JP]; 〒222-0033 神奈川県 横浜市 港北区新横浜 3 丁目 9 番 1 8 号 富士通コミュニ

ケーション・システムズ株式会社内 Kanagawa (JP). 田口 裕康 (TAGUCHI, Hiroyasu) [JP/JP]; 〒222-0033 神奈川県 横浜市 港北区新横浜 3 丁目 9 番 1 8 号 富士通コミュニケーション・システムズ株式会社内 Kanagawa (JP). 中島 一嘉 (NAKAJIMA, Kazuyoshi) [JP/JP]; 〒211-8588 神奈川県 川崎市 中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内 Kanagawa (JP). 根食 美也 (NEJIKI, Miya) [JP/JP]; 〒211-8588 神奈川県 川崎市 中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内 Kanagawa (JP). 伊藤 やよい (ITO, Yayoi) [JP/JP]; 〒222-0033 神奈川県 横浜市 港北区新横浜 3 丁目 9 番 1 8 号 富士通コミュニケーション・システムズ株式会社内 Kanagawa (JP). 長谷坂 清美 (HASESAKA, Kiyomi) [JP/JP]; 〒222-0033 神奈川県 横浜市 港北区新横浜 3 丁目 9 番 1 8 号 富士通コミュニケーション・システムズ株式会社内 Kanagawa

[続葉有]

(54) Title: DYNAMIC TRAFFIC CONTROL METHOD AND CONTROLLER

(54) 発明の名称: ダイナミックトラフィック制御方法及びその装置



10a-1...CELL 1  
10b-1...CELL 2  
10a...BASE STATION  
10b...BASE STATION

(57) Abstract: A dynamic traffic control method of a radio network system performing traffic control by varying the radio output of a plurality of radio base stations from a control station in which abrupt variation in the quantity of traffic can be followed up and occurrence of call loss, packet loss or ATM cell loss can be suppressed by measuring the cell-based channel use rate of each radio base station periodically, predicting whether an activity level requiring radio output control of a relevant cell will be reached or not during the next period from the past trend of channel use rate when the channel use rate of each cell is at an alarm level, and reducing the radio output of the relevant cell while increasing the radio output of an adjacent cell if the activity level is predicted to be reached.

(57) 要約: 本発明は、複数の無線基地局の無線出力を制御局から可変してトラフィック制御を行う無線ネットワークシステムのダイナミックトラフィック制御方法において、各無線基地

[続葉有]



(JP). 笹井 廣之 (SASAI, Hiroyuki) [JP/JP]; 〒222-0033  
神奈川県 横浜市 港北区新横浜 3 丁目 9 番 1 8 号 富  
士通コミュニケーション・システムズ株式会社内  
Kanagawa (JP).

(81) 指定国 (国内): JP, US.

添付公開書類:

— 国際調査報告書

(74) 代理人: 伊東 忠彦 (ITO, Tadahiko); 〒150-6032 東京  
都 渋谷区 恵比寿 4 丁目 2 0 番 3 号 恵比寿ガーデン  
プレイスタワー 3 2 階 Tokyo (JP).

2 文字コード及び他の略語については、定期発行される  
各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語  
のガイダンスノート」を参照。

局のセル単位のチャネル使用率を周期的に計測し、前記各セルのチャネル使用率が警戒レベルであるとき、過去のチャネル使用率の推移から次周期で該当セルの無線出力制御が必要な発動レベルに達するか否かを予測し、前記発動レベルに達すると予測された場合、当該セルの無線出力を減少させると共に隣接セルの無線出力を増加させるよう構成することにより、急激なトラフィック量の変動に追従することができ、呼損やパケットロスまたは ATM セルロスの発生を抑えることができる。